

移植

令和3年産 飼料用稲(WCS) 移植栽培ごよみ

JAふくおか嘉穂
飯塚普及指導センター

1. 水管理及び主な作業

	5月			6月			7月			8月			9月			10月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
つきすずか				湛水			間断灌水			中干し			間断灌水			落水		
	○ 種子消毒 ○ 播種			○ 基肥 ○ 田植 ○ 除草剤処理						○ 中干し ○ 追肥 (出穂前 30 ～ 40 日)			○ 出穂			○ 落水 ○ 刈取 (出穂後 ～ 60 日まで)		
	刈取時期に合わせて、計画的に落水しましょう。																	

2. 雑草・病虫害防除及び施肥

【種子消毒】

薬剤消毒: 下記のとおり(24時間種子浸漬)

名称	倍率	種子量	薬量	希釈水量
テカリードCフロアブル	200倍	10kgの場合	100ml	20ℓ

【箱施薬】

名称	使用量	使用時期	対象病虫害
防人箱粒剤	1箱当たり50g	播種時 (覆土前)～ 移植当日	いもち病、ウンカ類、 フタオビコヤカ、コブノメイガ
ブーンゼクテラ箱粒剤			

【施肥】

①堆肥活用の場合 (10a当たり)

基肥		追肥
牛ふん堆肥	硫安	硫安
4t	25kg	20kg

②堆肥なしの場合 (10a当たり)

基肥	追肥
ベスト化成444	硫安
70kg	20kg

【補正防除】

雑草が残った場合

名称	10a当たり使用量	対象雑草	使用時期
クリンチャーバスME液剤	1000ml/ 水70～100ℓ	広葉雑草 ノビエ	移植後15日～ノビエ5葉期まで 但し刈取50日前まで
フォローアップ1キロ粒剤	1kg	広葉雑草 ノビエ	移植後15日～ノビエ5葉期まで 但し刈取60日前まで
クリンチャーEW	100ml/ 水25～100ℓ	ノビエ	移植後20日～ノビエ6葉期まで 但し刈取30日前まで
クリンチャー1キロ粒剤	1kg	ノビエ	移植後7日～ノビエ4葉期 但し刈取30日前まで
バサグラン液剤	500～700ml/ 水70～100ℓ	広葉雑草	移植後15日～55日 但し刈取50日前まで
バサグラン粒剤	3～4kg	広葉雑草	移植後15日～55日 但し刈取60日前まで

ウンカ類が多発した場合

名称	10a当たり使用量	対象病虫害	使用時期
トレボン粉剤DL	3～4kg	ウンカ類	刈取7日前まで
トレボン乳剤	希釈倍率1000～2000倍 散布液量60～150ℓ	ウンカ類	刈取14日前まで
スタークル 豆つぶ	250g	ウンカ類	刈取7日前まで

3. 品種の特性等(福岡県内の作付実績等により作成しています。気象条件により若干変動します。)

品種名	田植日	出穂日	刈取の目安 (黄熟期)	草丈	乾物重	特徴・収穫の注意等
つきすずか	6月20日	9月6日	10月6日 以降	140cm	1.4t/10a	極端な遅植えは避け、生育期間を長くとり、生育量を確保しましょう。 良質なサイレージ生産のため出穂後60日までに刈取りましょう。

4. 栽培のポイント

①健苗育成

播種量は、1箱当たり催芽糶で150g播きを基準とする。

②田植え

1株植付け本数は3～4本立てとし、深植をさける。栽植密度は50株/坪程度とする。

③施肥

飼料用稲専用品種は食用稲より生育が旺盛で、その能力を活かすためには食用稲の1.5～2倍程度の多肥栽培が必要。

また、分けつ期の追肥が茎数確保に有効。出穂前30～40日ごろに葉色が急激に低下する場合、多収を得にくくなるので早めの窒素追肥を行う。

④水管理

倒伏の防止や地耐力を高めるため茎数を減らさない程度に強く中干しを行う。

適期に刈取りができるよう早めに落水しましょう。

— 農薬使用上の注意事項 —

○農薬の散布前は農薬ラベルを必ず確認しましょう。

○水稲は農薬散布後1週間程度の止水期間を遵守しましょう。 ○近接作物や住宅への飛散防止を徹底しましょう。

○散布後は散布器具(タンク・ホース)の洗浄を必ずしましょう。 ○防除履歴は正確に記帳しましょう。